1 潤いと生きがいのある生涯学習社会の実現

(1)基本方向

わが国における本格的な人口減少社会の到来、産業構造・就業構造の変化、グローバル化・情報化等の一層の進展、人々の支えあいと活力ある社会の構築等、社会環境の変化には著しいものがあり、人々のニーズは、ますます多様化・高度化している。

このような状況の中、生涯学習・社会教育の分野においては、今後、特に、個人が自立し、また、自らを律し、他と協調しながら、その生涯を切り拓いていく力を身に付けるとともに、それを地域社会全体の力に結びつけていくことが求められており、学習活動を通じて、地域住民等の間の「絆」を築き、互いに学び合い、交流し、能力等を高め合うことのできるような「地域の力」を引き出し、具体的な実践につなげていくことの重要性が増している。

そのため、第三次沖縄県生涯学習推進計画に基づき「人づくり、地域づくり」に取り組み「潤いと生きがいのある生涯学習社会の実現」に向け、生涯学習振興のための諸施策を推進する。

(2) 指標

該当頁は「(3) 各事業の点検・評価」の頁案内

成果指標 : 該当頁	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標値 H28
生涯学習推進体制組織の設置率: P8	%	60 🗡	60→	63 🗷	66 7	71 🖍	65
市町村における社会教育主配置率: P8・11	%	49 🗡	37 ↘	37→	41.5 🗷	39 ↘	50
県・市町村の講座の修了者数: P10	人	114, 936 🗷	110, 786 🔾	104, 216 🔾	100, 028 🔾	128, 608 🗷	115, 000
情報プラザへのアクセス数: P10	件	38, 257 🔾	38, 358 🗷	35, 003 🗸	26, 223 🔾	31, 500 🗷	42, 000

活動指標 : 該当頁	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標値 H28
生涯学習審議会の開催数: P8	回	12 🗷	0 >	0→	0→	2 1	5
県生涯学習推進本部の開催数:P8	□	6 7	2 >	2→	2→	2→	3
社会教育主事講習受講者数(沖縄会場): P8·11	人	25 🗷	20 🗸	17 🗸	17→	16 🗸	20
おきなわ県民カレッジ主催講座数: P10	譕	18 /	20 🗷	18 🗸	16 🗸	16→	25
おきなわ県民カレッジ連携講座数: P10	件	1, 012 🗸	1, 259 🗷	1, 299 🗷	1, 000 🔾	1, 251⊅	1, 200
生涯学習情報の登録数: P10	件	20, 616 🗷	21, 506 🗷	22, 244 🗷	22, 456 🗷	23, 169	25, 000
情報提供機関数:P10	件	137 🗷	139 🖊	143 🗷	164 🗷	1707	185

おきなわ県民カレッジ

■ 主催講座 (沖縄県教育委員会が主催する講座) **☆美ら島沖縄学講座** (教育庁生涯学習振興課が企画・運営する講座等)



「ライブ配信設備A」 【講座①資料で見る沖縄の近現代史】



「ライブ配信設備B」 【講座④沖縄の年中行事と祭具・供物】



「サテライト会場」 【教育事務所】



「ライブ配信中の講義風景」 【講座②琉球処分から明治期の沖縄県政】



「ライブ会場での受講」 【講座③沖縄の戦前・戦後】



「フィールドワーク:仲島の大石」 【講座④博物館で学ぶ沖縄の近現代史】



「組踊りへの誘い」 【国立劇場おきなわ】



「ライブ会場での受講」 【講座⑤沖縄の年中行事と祭具・供物】



「ライブ会場での受講」 【講座⑤沖縄の年中行事と祭具・供物】



「ライブ会場での受講」 【講座⑥沖縄の年中行事と祭具・供物】

☆広域学習サービス講座 (各教育事務所が運営する講座)



「地域限定通訳案内士入門講座」 (中頭教育事務所)



「四島マーイ」 (宮古教育事務所)

(3) 各事業の点検・評価

施策項目	事 業 名	Plan (計画)	D o (実施と成果)
①生涯学習推進体制の充実	ア 推進 生涯体制 整備 生涯学習の	① 1 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (①生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生
	振興課】イ 指導上導等生運費	①生涯学習・社会教育指導者等研修の充実(ア)県社会教育主事研修の者と教育主事研修の者協会教民主事研修当路の共産との共産との共産との共産との共産の共産の共産の共産の共産の共産の共産の共産の共産の共産の共産の共産の主事を会のは、での対策を対して、(ア)を主要を対して、(ア)を主要を対して、(ア)を主要を対して、(ア)を主要を対して、(ア)を主要を対して、(ア)を主要を対して、(ア)を主要を対して、(ア)を主要を対して、(ア)を	理解を図った。 ①参加者及び実績等 (7)県の社会教育主事等研修 8名町村社会教育担協。 8名町村社会教連した。 (1)市修の共催館を選進の会と、で主事のの会と、のの会ののでは、ののののでは、ののののでは、ののののでは、ののののでは、ののののでは、ののののでは、ののののでは、のののののでは、ののののでは、のののののでは、ののののでは、ののののでは、ののののでは、ののののでは、ののののでは、ののののでは、ののののでは、ののののでは、ののののでは、ののののでは、ののののでは、ののののでは、ののののでは、ののののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、ののののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のの

Check(点検と課題)

Action (今後の対応)

- ①生涯学習推進体制整備の構築未実施市町村 への対応
 - (7) 今年度、各市町村へ足を運び、生涯学習 推進体制整備構築に取り組むよう助言し たが、まだ充分に整備されない市町村が ある。
- ①各市町村における生涯学習推進体制 整備構築の促進
 - (ア)調査結果から今年度も、各市町村 訪問を実施し、生涯学習推進に関 する取組を依頼する。
 - (イ) 今年度もホームページを活用し、 情報提供等の実施を行う。
 - (ウ)継続して生涯学習推進体制状況調査を実施し、推進組織未整備市町村に対しては、設置を促す。

②沖縄県生涯学習推進本部の活性化

- (7) 各構成課とも生涯学習関連事業等の紹介 等に関しては、消極的である。
- (イ)講演会では、生涯学習振興行政をより一層「総合行政」として機能させるための内容となった。
- (ウ) 第三次生涯学習推進計画の見直しについて、充実した会議内容の開催が必要である。
- ②沖縄県生涯学習推進本部 実務者会議(年2回)
 - 実務者会議部会(年3回)の開催
 - (7) 平成29年度の第三次生涯学習推 進計画(後期)の実施に伴い、 実務者会議部会の設置等、組織 の機能化を図る。

- ①生涯学習・社会教育指導者等の研修
 - (7)国立教育政策研究所配信の社会教育にか かる学習コンテンツの充実(H23年収録 が最新版である)
 - (イ) 市町村担当者の業務と関連した研修の実施及び、研修の体系化
 - (ウ) 公民館連絡協議会や社会教育指導員連絡協議会等の社会教育関係団体との連携協力
- ②社会教育主事養成
 - (7)教職員受講生の減少 夏季休業中における九州大学等で行われ る主事講習参加希望者が少ない。
 - (イ)複数年にわたり社会教育主事講習の受講 生を出していない市町村がある。

- ①生涯学習・社会教育指導者等研修の 充実
 - (7) 県社会教育主事研修の実施
 - (イ)市町村社会教育担当者研修の実施 (公民館連絡協議会等との共催)
 - (ウ) おきなわ県民カレッジ主催講座と の連携
- ②社会教育主事養成事業の活性化
 - (7) 校長研修会等での社会教育主事講習の広報・周知を図る。
 - (イ) 市町村教育委員会等への社会教育 主事講習の更なる周知、広報を行 い、社会教育主事未配置市町村か らの受講生確保に努める。

施策項目	事業名	Plan (計画)	D o(実施と成果)
2	ア おきなわ	①県民のニーズにあった講座	①おきなわ県民カレッジ主催
県	県民カレッ	の計画	講座16講座開催
民	ジ	(ア)講座内容、開催時期等の	(ア)美ら島沖縄学講座 9講座
の		検討	(イ)広域学習サービス講座 7講座
学		②奨励賞受賞の増を図る	(ウ)学校開放講座 0講座
習		(ア)奨励賞、学びのパスポー	②連携講座会場でのおきなわ
=		トについて広報活動の積	県民カレッジの説明、広報
		極的実施	活動を実施
ズ		③離島でのモデル講座を2回	③伊平屋村で離島開催講座を
1=		実施	開催
応	【生涯学習	④遠隔講義配信システムの運	④遠隔講義配信にかかる備品
え	振興課】	営及び内容の検討	整備及びライブ配信の実施
る			
学			
習	イー沖縄県生	①県民の学習機会の拡充	①生涯学習情報プラザ
機	涯学習情報	(7)関係機関との連携	(7)情報登録数 23,169件
会	提供システ	(イ)内容の充実	(イ)情報提供者数 170機関
の	ム(生涯学	(ウ)県民への広報活動の強化	(ウ)アクセス数 31,500件
充	習情報プラ	②遠隔講義配信システムの運	②遠隔講義配信システム
実	ザ)	営に向けた調査研究	(ア)ライブ配信数8回
	【生涯学習	(ア)利用しやすいシステム及	(イ)オンデマンド教材数16本
	振興課】	びコンテンツの調査研究	(ウ)個人ID申請者数:62人

■沖縄県生涯学習情報提供システム(沖縄県生涯学習情報プラザ)

○情報の登録数

情報内容	H25	H26	H27		
講座·研修	10, 388 🗷	10, 704 🗷	11, 453 🗷		
指導者	412 🗸	414 🗷	417 🗡		
団体	57 ↘	55 ↘	55→		
施設	514 🗷	490 🗸	492 /		
視聴覚	10, 632 🗷	10, 552 💃	10, 509 🔾		
資格免許	241→	241→	243 🖍		
合 計	22, 244 🗷	22, 456 🗷	23, 169 🗷		

〇情報提供者数 [情報提供機関数]

情報提供者種別	H25	H26	H27
管理者	3 1	15 🗷	15→
県関係機関	47→	47→	49 🗷
市町村関係機関	70 🗷	78 🗷	82 🗷
大学等	14 🗷	14→	14→
視聴覚施設	9→	10 /	10→
合 計	143 🗡	164 🗷	170 🖍

〇生涯学習情報提供システムへのアクセス件数:31,500件(前年度26,223件)

Check (点検と課題)

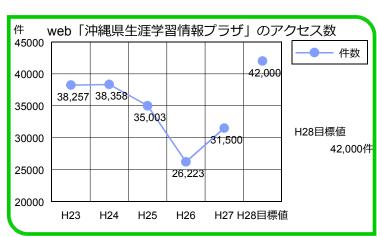
- ①おきなわ県民カレッジ講座について
 - 受講生を講師に活用した講座の拡充
 - ・受講生の学びのニーズの把握
 - 県立学校への学校開放講座の周知広報
- ②奨励賞受賞者数が増加しており、奨励賞授 賞式のあり方について検討
- ③離島における講座ニーズの把握、離島市町 村教育委員会との連携強化
- ④遠隔講義配信システムを活用した講座のライブ配信の充実

Action (今後の対応)

- ①県民のニーズにあった講座の計画
 - ・講座内容と開催時期等の検討
 - 体験、フィールドワーク的学習
- ②奨励賞受賞式の改善
 - (ア)100単位(筑登之賞)、200単位(里 之子賞)は、郵送とする
 - (イ)300単位~500単位(学長賞)は、 授賞式にて表彰とする
- ③離島でのモデル講座を2回実施
- ④遠隔講義配信システムの計画的・効果的な配信
- ①内容の充実と県民への周知広報が課題
- ②遠隔講義配信にかかるライブ配信及び オンデマンド教材作成
 - (ア) 著作権及び個人情報保護等の確認
 - (イ) オンデマンド教材掲載期間の確認
 - (ウ) 生涯学習推進本部構成課・市町村・生涯 学習関係機関との連携
- ①県民の学習機会の拡充
 - (ア)関係機関との連携
 - (イ)内容の充実
 - (ウ) 県民への広報活動の強化
- ②遠隔講義配信システムの周知及び利用拡大
 - (7) 生涯学習関係機関との連携
 - (イ) ライブ講座及びオンデマンド教材の充実

〇社会教育主事講習受講者数

項目	H25	H26	H27		
*国社研 [A]	0→	0→	0→		
*国社研[B]	0→	0→	1 7		
国社研[B]	17 🗸	17→	16 🗸		
沖縄会場	(7)	(6)	(9)		
九州大学	1 /	1→	2 7		
岡山大学		1 /			
	18 🗸	19 7	19→		
合計	(7)	(6)	(9)		
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					



- ()は分割受講者数
- 注: * 国社研: 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
 - * [A]: 7月~8月に実施される社会教育主事講習
 - * [B]: 1月~2月に実施される社会教育主事講習
 - *「沖縄会場」は[B]をインターネットで視聴して受講

■社会教育主事講習(九州大学会場)



現地研修 公民館講座

現地研修 長崎県 島原市

■社会教育主事講習【B】沖縄会場



社会教育演習(レクリエーションの展開)



社会教育演習(事業計画立案の実際)

■沖縄県社会教育専門講座



沖縄県社会教育主事専門講座 1



沖縄県社会教育主事専門講座2